

調査研究報告書

出張期間	平成26年7月29日～30日（1泊2日）
出張先	静岡県静岡市葵区 静岡防災センター
出張者氏名	颯新クラブ3名 坂本一之、清水正二、小澤重則
	全国災害ボランティア議員連盟研修
	南海トラフ巨大地震に備える
調査研究(視察)	自主防災組織の取り組み
項目	議員連盟ワークショップ
	災害図上訓練

全国災害ボランティア議員連盟 研修

➡ 日 時 ➡

1日目 平成26年7月29日(火) 13:30~17:00

2日目 平成26年7月30日(水) 10:00~16:00

➡ 場 所 ➡

静岡県地震防災センター (静岡市葵区駒形通5丁目9-1)

➡ プログラム ➡

1日目

時 間	研 修 内 容
13:30~15:00	(基調講演) 南海トラフ巨大地震に備える 静岡県地震防災センター 小林所長
15:00~15:15	休憩
15:15~16:15	静岡県第4次地震被害想定と自主防災組織の取組み (仮) (静岡県地震防災センター地震防災アドバイザー)
16:20~16:50	静岡県地震防災センター施設見学・体験 (静岡県地震防災センターインストラクター)

2日目

時 間	研 修 内 容
10:00~12:00	議員連盟 ワークショップ
12:00~13:00	休憩
13:00~16:00	災害図上訓練 HUG (静岡県地震防災センターインストラクター) DIG (常葉大学 小村准教授)

甲斐市議会議長有泉庸一郎様

颯新クラブ研修報告

平成 26 年 7 月 29 日—30 日 静岡県静岡市駒形通 5 丁目 9-1

静岡県地震防災センターにて

南海トラフ巨大地震の発生が予想される中、又富士山噴火も想定し防災計画の策定を進める静岡県の取り組みについて山梨県並びに甲斐市の防災計画を考え備えるべく、研修に参加致しました。

静岡県においては地震時の津波対策が最重要課題と位置づけており、駿河湾にみられる地形として、とても深い海により津波の到達の早さを深刻に考えており、沿岸部の防潮堤の整備を行っている。

甲斐市においては、津波の心配は無いものの、昨今の異常気象にみられる対策も加味して行かなければならないと考える。

又、全国災害ボランティア議員連盟による研修であり、災害ボランティア活動支援のための法律提言についても自由討議により制度創設の可能性についても探った。

颯新クラブ 小澤重則